



To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2011年2月 No.345
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2010~2011)	
センテニアルクラブ会長	：『創造と協同、みんなの願いを前へ』
東京セントラルクラブ会長	：『ひとつとなって YMCAへ』
国際会長	：『明日への橋を架けよう』
アジア地域会長	：『心新たに立ち上がろう』
西日本区理事	：『飛翔たとう ワイズスプリットを胸に』
中西部部長	：『豊かに、そして拡がりのあるワイズライフを !!』

クラブ役員	Officers
会 長	： 新保 正秋
副会長	： 谷川 寛
書 記	： 石津 雅人
会 計	： 藤原 正巳
メネット会長	： 山中 ちあき
Y連絡職員	： 鍛治田 千文

Biblical Message of February

平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。

(マタイによる福音書 第5章9節)

February Club Meeting

『 TOF/CS/FF 』

2 月 第 1 例 会

日時：2011年2月16日(水) 18:30~20:30
 場所：ホテルグランヴィア大阪 21 階

司会：中村 茂高 君

- | | |
|---|-----------------|
| 1.開会点鐘 | 新保 正秋 会長 |
| 2.ワイズソング | 一 同 |
| 3.聖句朗読 | 谷川 寛 君 |
| 4.ゲスト・ビジター紹介 | 新保 正秋 会長 |
| 5.今月の強調活動 | 坂本 哲朗 君 |
| ＜私たちのお金はどこに使われているか？＞ | |
| | 谷川 寛 君 |
| 6.ティータイム | 一 同 |
| 7.卓話「海外旅行の重大事故対応を通しての学び」 | 損害保険会社・平野 孝弥 さん |
| 8.連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 9.誕生祝い・ニコニコ献金 | 一 同 |
| 10. 閉会点鐘 | 新保 正秋 会長 |
| 2月例会は食事はありません。代わりにお茶とケーキが出ます。
CS 目標額は当選切手 12シート、または現金換算 1,500円(一般切手も可)。お忘れなく、例会にご持参ください。 | |

2 月 第 2 例 会

日時：2011年2月23日(水)18:30~20:30
 場所：土佐堀YMCA会館4階

2月のお誕生日 福永(16日)、田中(19日)の各メネット、石津メン(21日)

例会担当

2 班：鍛治田、坂本、中村茂、藤原、福永の各メン

名にし負はば

中村 幸枝

コーヒー会社の、「季節の花の鉢プレゼント」で当選したものが、1年間に渡り毎月1鉢ずつ送られてきた。ばら・紫陽花・ランタナ・ハイビスカス・シクラメン等。留学生として娘が旅立って3ヵ月が過ぎ、私の心配も頂点に達していた時、届いた1鉢がアメリカンブルーだった。柔らかな葉に細い茎。小花が薄紫に近いブルー。なんて爽やかで清々しいのでしょうか。濃い赤やショッキングピンクの花のイメージだった国。その国の原産で、このような色の花があり、そしてこの名をつけたアメリカ人を好きになった。アメリカの繊細さを唯一表現したかに思えた1鉢だった。台風カトリーナでシェルターに避難すると言ってきた時や、ルート66ドライブ中事故に遭い、ラスベガスにヘリコプターで搬送された様子を聞かされた日など、ベランダに目をやると、青々と今を盛りと咲いたアメリカンブルーが「大丈夫。今はじっと待っておあげなさい。そしてアメリカを信じてね。」と言ってくれていた。名があればこそ、頼り、憧れ、癒されもする。娘も確かにアメリカの良心に支えられた日々だったのでしょ。静かに地面を這うように、そして抱きこむように大きく茂るアメリカンブルーのような人びとの中で。

(今回は、鍛治田千文さんです)

【クラブ統計 Statistics】

2011年1月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント		ニコニコ献金
在籍会員 21名	メ ン	17名	9名	1 月	185g	1月： 17,484円 累 計：124,309円
例会出席 17名	メネット	8名	1名	現 金	0円	
うちメーキャップ 0名	ビジター	0名	0名	切 手	6,865g	
出席率 81%	ゲ ス ト	1名	0名	現 金	500円	
	合 計	26名	10名			

1月第2例会

日時：2011年1月26日(水) 18:30~20:00
場所：大阪YMCA土佐堀館4F
出席：石津、大村、新保、谷川、藤原、松浦、山田、三浦、
山中の各メン。山中メネット

報告・協議事項

2月センテニアル落語会
日時：2月26日(土)14時開場、14時30分開演。
場所：大阪YMCA会館9階
役割：司会/坂本千・挨拶/新保・会計/新保(楽屋担当)
受付/山田、松浦和、山村
会場設営/石津、三浦、坂本、畠中、大村
物品販売/坂本千、中村幸、隅田恵、山中ち、谷川有
規約・内規について
検討委員会=新保(委員長)、谷川(副委員長)、石津(書記)、
藤原、山中、坂本、松浦、大村
ポイント=会員、例会、役員、幹事、役員の選出、委員、
会費、慶弔
スケジュール=2、3月中に意見集約。5月のキックオフ
までに決める。

今後の予定

3月例会 司会/藤原・卓話/高森雅己(城郭研究家)
「歴史を語る日本の城」~天下人の城を巡る

4月例会 司会/三浦「卓話」

5月例会 司会/岡本「卓話」

6月例会 司会/石津「1年の評価」

キックオフ例会

日時：5月14日(土)六甲YMCA会館

参加費：共同宿舎=4,400円・本館=6,200円(ツイン)

・11時、阪急六甲駅集合

・12時、昼食、見学

・13時半、会議<16時半終了>

中西部新年会=2012年1月14日(土)14時~17時

12時~13時30分=評議員会

場所：ホテルグランヴィア大阪 会費：7,000円

(新保 正秋)

1月BF報告

山田(50g)、松浦(45g)、谷川(30g)、中村隆(25g)、
福永(15g)、新保、岡本(各10g)

計185g

松田明久さん(右)の入会式



この聖句は、ご存知「山上の説教」の一部として有名です。キリスト教(ユダヤ教を含む)でいう「平和」とは、私たちが日本で考える「平和」-それは単に紛争のない状態を指す平和-とは異なります。日本で考える「消極的平和」でなく、「積極的、正義のための平和」を指します。構造的暴力、すなわち、飢餓、貧困、社会的差別、不公正、教育・医療の遅れ、などをなくすことを目指す広い意味の「平和」を指します。ワイズでも、2月はTime of Fastの月です。地球上から飢餓をなくすことを目指す月です。YMCAのアジア同盟の集まりに参加しますと、「Peace be with you」という挨拶が交わされます。この場合、日本語でいう「平安」に近く、あなたに「心の平安がありますように!」という祈り、に近いと言えます。ヘブライ語の挨拶「シャローム」(SHALOM)も、「平和であれ」の意味でつかわれ、パレスチナでは、いかに平和が尊いか、が解ります。

聖句選/コメント：谷川 寛

(次回は、石津雅人さんです)

1月第1例会

とき：1月19日(水)18:30~21:00

ところ：ホテル グランヴィア大阪 21階

まだ正月気分が抜けぬ1月の例会。少しプログラムを組み替え、晚餐、松田明久さんの入会式後に総会があり、新保会長から次期役員案が発表され、一同の承認を受けました。また藤原メンから今期12月末現在の健全な収支報告が述べられました。

その後、「多くのデザイナーも経営者だった」と、山中メンが氏のもとでMBAを取得した美術家の松田さんを紹介。「点から線へ」と題し、これまでのアートやデザイン活動についてのお話をうかがいました。

現在、キッズプラザ大阪で、子どもたちにアートを指導。グニョグニョ、クネクネ、何か分からないけど、見たら楽しい、おもしろい日常の素材を使い、音や光を出し、動きを伴う作品を制作されています。



松田明久さんの卓話風景

映像から浮かび上がる作品の形と色彩はとても美しく、氏の才能の豊かさの一端を著す内容でした。時間が足りなくて、例会後、松田さんに「点から線へ」の意味を再度尋ね、メールで返事をいただいたところ、

「点とは、時間の点であり、ヒトとのつながりの点。そのすべてが今の自分。人と人を繋ぐ掛け橋や都市と人を繋ぐことにより線となり、面となってゆく。アートの持つ可能性を信じ、子どもから大人までアートを通して自然のすばらしさをうたえたい」。アートとは、老若男女、人種、国境を越え、ともに分かち合えるコミュニケーション・ツールであることを実感しました。

(中村 茂高)

谷川 寛

マンハッタンのブロードウェイを北上して125丁目に足を踏み入れると、そこはハーレムの中心。アメリカ最大の黒人居住地区です。昔は治安が悪く、地元のアメリカ人でも近づきませんでした。今は変わり、安心して歩けます。ハーレムには教会がたくさんあります。奴隷解放のあと、黒人は独自の教会をもちました。日曜日の礼拝に、私たちが訪れたアビシニア・バプテスト教会(Abyssinian Baptist Church)は、ハーレムでもっとも、人々に親しまれている教会の一つです。ゴシック風の建物が美しく、聖歌隊(Chorale)は有名です。礼拝に集まる人々は大半が黒人。中高年が多く、男性はネクタイにスーツ。女性はイースター・ボンネットなどの帽子を被り、全員着飾っています。



着飾った女性の写真

私たちヴィジターは、会堂の外で次の礼拝時間まで、行列して待ちました。行列は大半が海外からの訪問者で、フランス語、スペイン語が飛び交っています。礼拝堂は、バプテスト教会らしく簡素で、千人近く収容できる大きさです。

牧師の説教は熱っぽく、途中でしばしば休み、その合間に50名近い聖歌隊が、起立してゴスペルを歌います。全身を左右に揺らして、神を賛美します。聖歌隊の歌声に合わせて、会衆(congregation)が相槌を打ちます。会衆全員が一体となり、礼拝堂を震わせ、ムードは最高潮に達します。当日は、洗礼式(バプテスマ)がありました。下の写真は本から入手しました。教会内は撮影禁止です。

(聖歌隊と洗礼式 - 本より転載)

バプテスト教会にふさわしく説教台の後ろに大きな大理石の水槽があります。受洗者と牧師が白衣で水槽に入り、一人の牧師が受洗者を支え、仰向けに水槽に浸し、バプテスマを授けます。受洗者一人ひとりのバプテスマが終わるのを会衆は暖かく見守り、神の恵みに感謝して、聖歌隊の歌声が響いていました。



西日本区次期役員研修会が2011年1月9日~10日にホテルクライトン新大阪で行われました。

チャリティーボウリング大会

こちらクリスマス献金のためのボウリング大会です。50代以上の方は「昔取った杵柄」で・・・是非、奮ってご参加ください。24名限定です。

日時 2月25日(金)19時から
場所 桜橋ボウル

早天祈祷会

日時 2月18日(金)7:30
場所 大阪YMCA会館チャペル
証し 杉村徹(YMCAサンホームスタッフ)

表コミニユース

表コミニが9月から取り組んでいました肥後橋商店街の看板作り。キャラクターのひこにゃんならぬ肥後ちゃん看板ができあがりました。商店街の皆さんも「これで名刺作りたいわ〜」というくらい大変気に入っていただきました。この活動はクリスマス献金をもちいています。

(鍛治田 千文)



表コミニの学生が作った肥後ちゃん看板

Club Activities (January, 2011)

On January 19, our club's January meeting was held at Hotel Granvia Osaka with a total of 24 Y's men and Y's menettes in attendance.

President MASAOKI SHINPO presided over the induction ceremony of Mr. AKIHISA MATSUDA aged 26. He has now become the youngest member of our club.

Welcome Mr. MATSUDA to our club. We are so pleased to have the youngest member. Let's work hand-in-hand and enjoy Y'sdom together!

With its emphasis on the "IBC" this month, Y's man KAN TANIKAWA outlined the meaning and purpose of the programs. He also told us about the existing friendly relations with our brother clubs in Hawaii and Hong Kong..

Another highlight that evening was the speech given by our newest member, AKIHISA MATSUDA, art director and space designer. He spoke about his active art activities, titled "From the point to the line and the line to the space."

Showing variety of his abstract art works, including numbers of outdoor exhibitions in domestic and foreign, he told us enthusiastically about the abstract art he has been pursuing.

Yen 17,484 was collected for our club's niko-niko (smiling) fund.

ニコニコ・メッセージ
【Messages from the Club Members】

会員からのメッセージ

若い方の入会が続くクラブの活性化が図られて将来が楽しみです。(石津 雅人)

松田さん入会おめでとうございます。ワイズライフと一緒に楽しみましょう。(大村 肇)

今日は遅れまして申し訳ありません。松田さんのご入会おめでとうございます。(岡本 剛介)

今日の卓話ではデザインの話など毎回の卓話で色々なことを教わられてうれしいです。(小野 都子)

松田さんの卓話について作品もパワーポイントも視覚への訴え方が上手く、さすがデザイナーだと思いました。自分の知らない世界の話が多く興味深く聴かせてもらいました。(大畑 慎治)

着物を着始めて丸3年、なんと振袖の着付けにまで挑戦です。想像もできなかったことですが、すごく楽しいです。(鍛冶田 千文)

松田さん御入会おめでとうございます。若いメンバーが入りうれしいです。(坂本 千春)

松田明久さん入会おめでとうございます。これからY sライフを楽しんで下さい。(坂本 哲朗)

松田明久さん入会おめでとうございます。卓話もすばらしかったです。総会で次期役員、中間会計報告、中西部評議会報告、第1例会の開始時間についてなど議論がありました。(新保 正秋)

今年のお正月は六甲YMCAの「森のおせち」でお祝いしました。「森のおせち」はどれもとても美味しく内容もバランスが取れていて家族全員大喜びでした。(隅田 恵子)

新しい入会者、松田明久さんを得て大変うれしく思います。また、新年度の役員が決まりました。皆さんで支援しましょう。(谷川 寛)

ワイズは無理せずに楽しみながら進めていきましょう。松田さんおめでとう。(中村 幸枝)

松田明久様、御入会おめでとうございます。若い方への入会は嬉しいものですね。ご活躍を祈ります。(福永 嘉彦・滋子)

松田さんご入会おめでとうございます。ワイズは積極的に参加しますととても拡がりのある世界です。是非私たちと共にワイズを楽しみましょう。また入会直後に、あまり経験しない興味深い世界のお話を聴かせて頂き有難うございました。(藤原 正巳)

松田明久さん、ご入会おめでとうございます。若い方がたくさん入られて嬉しいです。(松浦 和子)

松田明久さんの入会、心から歓迎し一緒にワイズメンとして活動することを楽しみにしております。松田さんの創造的感覚をわがクラブで発揮して下さい。(松浦 孝次)

松田様、入会おめでとうございます。共にワイズを楽しんで行きましょう。2011年が私も含め皆が良い年になることを祈ります。(三浦 直之)

名実共に高齢者になって来ました。自分としては元気なつもりですが、客観的には身体のパーツあちこちのバランスに不具合が出始めました。でもまだまだ現役でやれますよ。(山田 孝彦)

松田明久くんの入会を祝し、入会イニシエーションスピーチ”点から線へ”素晴らしい経験、展覧会の実績に拍手を送ります。(山中 秀男)

松田明久さん、御入会おめでとうございます。若い方、期待しています。(山中 ちあき)

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。(山村 利子)

中西部合同新年会

2011年中西部合同新年会が、高槻の「アンシェルデ・マリアージュ」で1月15日(土)に開催されました。中西部のワイズ・メネットを中心に、114名が参加し、センテニアルクラブも13名が集いました。第部の式典に続き、第二部では、高槻芥川高校和太鼓部の生徒さんによる和太鼓の演奏があり、和太鼓の力強い響きに圧倒されました。高校生の若さあふれる演奏と笑顔がとても印象に残りました。来年は、センテニアルが合同新年会のホストクラブになりますので、今年に負けない素晴らしい出し物を考えなくてはと思いました。第三部の懇親会では、ワイズの皆さんとの楽しい交流のひと時を過ごし、今年一年、新たなスタートを切ることが出来ました。



(大村 肇)

後記

小雪の舞い散る1月25日、神戸西ワイズの荒木潔さん(79)の葬儀が御影教会で行われました。

私が昨年2月、御影教会を訪れた時、最初にお会いし話をした方です。大きな体に温厚な笑みを浮かべた荒木さんから、唐突に「私は甲山事件当時の施設長でした・・・」とポツリとつぶやかれたことを、今も鮮烈に覚えています。

甲山事件とは、今から35年前の1974年、兵庫県西宮市の知的障害者施設で起こった2人の園生死亡事故に端を発し、アリバイのなかった保育士(22)が殺人容疑で逮捕され、当時施設長の荒木さんが保育士のアリバイを偽証したという罪に問われました。25年の長きにわたる裁判の末、無罪判決が下りた事件です。

また荒木さんは1995年の阪神淡路大震災で、家屋を全壊。13年前には長く連れ添った伴侶を亡くされています。

荒木さんが、これまで想像もできないほどの苦難な道を歩みながら、晩年、春風駘蕩としたやさしいお顔をされていたのは、きっと最後まで主イエス・キリストを信じ、希望を捨てなかった信仰の力によるものと思います。聖書の「詩編121編」がお好きだったと聞いて納得しました。

(中村 茂高)